

## べた掛け用不織布の効果確認試験



JA ようてい

森 喜代巳



サンライズneo



サンライズneo(ピン止め)



サンライズneo(全体)



パオパオ(全体)



サンライズneo、パオパオ右

## 試験目的

べた掛け作業省力化に向けた不織布の効果確認

試験作物  
及び品種

早出し馬鈴薯・スイートコーン

試験資材  
及び数量(規格)サンライズneo(3.0m×200m) 2本  
(不織布の幅の両端が厚くなっているタイプ)

## 慣行資材

パオパオ

## 栽培方法

播種日	収穫日	早出し馬鈴薯 【栽植密度】	スイートコーン 【栽植密度】
早出し馬鈴薯:4月27日 スイートコーン:5月12日	早出し馬鈴薯:8月2日 スイートコーン:8月中旬	畝幅:72cm 株間:30cm	畝幅:72cm 株間:35cm

## 資材使用期間

早出し馬鈴薯:4月27日~6月上旬  
スイートコーン:5月12日~6月上旬

## 試験区面積

1,200㎡

## 試験結果

## (1)作業性について(慣行品との比較)

早出し馬鈴薯/ピン止め作業については、サンライズneoの両サイドが厚くなっている分、折りたんでピン止めする時間の短縮をすることができた。

スイートコーン/サンライズneoの規格と畝幅が合わずピン止めをする関係上、折りたたみ作業が発生したため、パオパオとの作業と変わらなかったため、作業時間の短縮はできなかった。

## (2)作物の生育状況または、収穫への影響

収量調査は実施していないが、生育や収量で大きな差はみられなかった。

## (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

サンライズneo、パオパオともべた掛け作業時や使用中に破けることはなかった。また、風が不織布の下に入り持ち上がり剥がれることはなかった。

生育ステージに合わせてピンの調整をしたため、作物の盛り上がりによる不具合はなかった。(サンライズneoのピン止め箇所は大きな破れ等はなかった。)

## (4)保温効果について

調査は実施していないが、生育(草丈)や収量(実入)で大きな差はみられなかったため、不織布の機能としては十分果たしていた。

## モニター感想

畝幅とサンライズneoの規格幅が合えば、ピンさすところが厚くなっているので作業性は良いと感じた。しかし、合わなければ、ピンで抑える部分を折り返す作業がパオパオ同様に発生するため、変わらない。

サンライズneoの生地はしっかりしており、きめ細かい感じがあった。厚さもあるように感じた。

風抜けは問題なく、剥がれたり持ち上がることはなかった。今回は3m幅での試験だが、10m幅を使う機会が多いため、風抜けが3mと同様かは不明。※人参・大根等でも使用

保管は折りたんで片付けているが問題はない。

## JA担当者の感想(小西氏)

サンライズneoは製品幅と畝幅が合致すれば、作業省力化につながるため、価格等がパオパオと同程度であれば、進めていきたいと考えている。

様々な不織布があり生産者も選択することができるようになってきている。しかし、価格・品質・特性は商品によって異なるため、地域にあった資材選定を行ってほしい。

不織布は数年使用する資材のため、何年ぐらい使用できるかを確認していきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

既存のものと同様以上であれば、問題はない。

2年目以降も劣化して破れや穴があくまで使用したい。

## その他

良品で安価な資材があれば一番良いが、価格ばかりが先行して品質が悪ければ意味がない。正しい情報を的確に捉え情報発信して欲しい。

1 栽培システム

2 敷設システム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 除菌資材

9 ICT機器

10 その他